

港 湾 の 区 分	
A区分	衣浦，三河，常滑，河和
B区分	該当なし
C区分	富具崎，内海，師崎，吉田，東幡豆，倉舞，馬草，泉，福江，伊良湖

漁 港 の 区 分	
A区分	大野，鬼崎，河和，大浜，蜷川，寺津，栄生，知柄，形原，三谷，御馬，姫島，味沢，一色
B区分	篠島，日間賀，佐久島
C区分	荻屋，小鈴谷，上野間，山海，豊浜，師崎，大井，豊丘衣崎，宮崎，西幡豆，宇津江，伊川津，福江，赤羽根，高豊，二川

② 海上輸送に要する補正

海上作業がある工事については、**現場労務者、現場従業員**および作業船乗組員等の海上輸送費用として「**表－① 共通仮設費率**」により求めた率に下表の**補正係数**を乗じるものとする。

なお、海上作業とは**現場労務者、現場従業員**および作業船乗組員が陸路で直接現場までの移動が困難な場合を言う。

陸上作業と混在する場合の計上の有無の判断基準は海上作業の有無によるものとし、海上作業がある場合は、**補正係数**を乗じるものとする。

また、現場条件や施工内容により、別途計上できるものとする。

表－3 工種区分別の共通仮設費率補正表

工 種 区 分		補正係数
港湾・漁港 工 事	浚 渫 工 事	1.28
	構 造 物 工 事	1.68

注) 海岸工事（港湾に関わる海岸）について、海上作業がある工事は、別途計上するものとする。

③ 共通仮設費率補正の計算

共通仮設費率＝共通仮設費率（K_r）× 海上輸送に要する補正係数 ＋ 施工地域、工事場所による補正值（小数第3位四捨五入）

2) 積上げ計算による部分

(1) 積上げ計算による額の算定

現場条件等を的確に把握することにより、必要額を適正に積上げるものとする。

(2) 条件明示

安全対策上、重要な仮設物等については、設計図書に条件明示するものとする。